

クリーン関連

2030年温室効果ガス排出量46%削減
2050年カーボンニュートラル
ウクライナ侵略を受けた供給源の多様化等の必要性



今後10年間に官民協調で
150兆円規模のグリーン・トラン
スフォーメーション(GX)投資

先端技術関連

コロナ禍でのワクチン→科学技術・イノベーションによる社会課題解決
テレワーク→デジタル技術による地方の社会課題解決



科学技術投資の抜本拡充
デジタル田園都市国家構想

スタートアップ関連

スタートアップはイノベーションの原動力
社会課題解決にも貢献する、新しい資本主義の担い手



5年10倍増を視野に
スタートアップ育成計画

人への投資関連

創造性を発揮して付加価値を生み出していくために重要なのは「人」
コストカットから人への投資を通じた付加価値向上にシフト



スキルアップと成長分野への移
動に2024年度までの3年間に
4000億円規模の予算を投入

クリーン関連（1）

現 状

水素利活用プロジェクト 23件
海洋エネ発電導入量 0.24GW
自動車生産台数 106万台
など

ありたい姿

GX投資が進む
カーボンニュートラルの先進地として認知
ますますGX投資が集まる

取組の方向性

【事業例】

脱炭素先行地域、SDGs未来都市

クリーン関連（2）

脱炭素先行地域（環境省）

- ・2050年カーボンニュートラルに向け、民生部門の電力消費に伴うCO2排出削減ゼロ等を実現するモデル地域
- ・選定された地方公共団体等の取組に対し、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金等で支援
- ・2025年度までに少なくとも100カ所選定予定

【現在の選定状況】

26件（うち九州3件）

北九州市

公共施設等における再エネ導入・最適運用モデルと横展開による地域産業の競争力強化

熊本県球磨村

脱炭素×創造的復興」によるゼロカーボンビレッジ創出事業

鹿児島県知名町

ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ

SDGs未来都市（内閣府）

- ・地方創生に資する、地方公共団体によるSDGsの取組を推進するモデル都市・地域
- ・多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環の形成が見込める、先導的な事業に対し助成

【現在の選定状況】

154件（うち九州23件）

福岡県直方市

未来へつなぐ「ひと・まち・自然」～Road To 2030 Team NOGATA

熊本県八代市

新たなつながりの創出で、「持続可能な人と企業に選ばれる」づくり

熊本県上天草市

島々を抱く穏やかな海で自然の恵みを活かしたサステナブルシティ
～訪れたい、応援したい、戻りたい～

熊本県南阿蘇村

「3つのKによる誰もが住みたい・住み続けたい南阿蘇村」の構築

鹿児島県薩摩川内市

「持続可能で魅力的なまち・薩摩川内市」を目指して

ほか18都市

先端技術関連（1）

現 状

先端技術活用プロジェクト件数 611件
革新的医薬品等開発案件 5件
有機EL分野支援企業数 36件
など

ありたい姿

先端技術の開発、社会実装が進む
社会課題が解決される
先端技術企業が集積する

取組の方向性

【事業例】

スマートシティ・スーパーシティ、デジタル田園都市構想推進交付金、地方大学・地域産業創生交付金

先端技術関連（2）

スマートシティ（内閣府等）

- ・新技術やデータを活用したサービス提供等により、都市や地域が抱える諸問題の解決を行い、新たな価値を創出し続ける持続可能な都市や地域
- ・未来技術社会実装事業、地域課題解決のためのスマートシティ推進事業など複数の事業によりスマートシティの取組を支援

【現在の選定状況】

62件（うち九州10件）

佐賀県嬉野市、基山町

長崎県

熊本県人吉市、荒尾市

宮崎県、延岡市

沖縄県、宮古島市、北谷町

スーパーシティ（内閣府）

- ・複数分野の先端サービスの提供と、複数分野間のデータ連携、大胆な規制改革により、住民が参画し、住民目線で、2030年頃の実現される近未来を先行実現することを目指す都市や地域
- ・データ連携基盤の調査・実証、基本構想の作成などを支援

【現在の選定状況】

2件（つくば市、大阪府・市）

地方大学・地域産業創生交付金（内閣府）

- ・産学官連携による地域の中核的産業の振興や専門人材育成等を行う優れた取組を支援

【現在の選定状況】

9件（うち九州1件）

北九州市×九州工業大学

革新的ロボットテクノロジーを活用したモノづくり企業の生産性革命実現プロジェクト

スタートアップ関連

現 状

九州・沖縄全体の開業率 4.8%
J-Startup KYUSHU選定企業 33社
規模が小さい企業が中心
資金や開発・経営スタッフの不足

ありたい姿

スタートアップ企業が続々誕生する
大きく成長するスタートアップが生まれる
スタートアップが地域を活性化させる

取組の方向性

【事業例】

SBIR制度（地域の技術シーズ等を活用した研究開発型スタートアップ支援事業など）

人への投資関連

現 状

従業員のモチベーション向上重視の声
販売、専門・技術人材が不足の声
(全国) 人材投資は低水準
労働生産性の伸び悩み
デジタル人材の不足

ありたい姿

社員教育への投資が増える
生産性が向上する
成長分野に人材がシフトする

取組の方向性

【事業例】

人材開発支援助成金、専門実践教育給付金

スタートアップ・人への投資関連

SBIR制度

- ・スタートアップ等による研究開発を促進し、その成果を円滑に社会実装し、イノベーションの創出を促進するための制度
- ・研究開発型スタートアップ等を「特定新技術補助金等」と「指定補助金等」で支援

【特定新技術補助金等の例】

地域の技術シーズ等を活用した研究開発型スタートアップ支援事業（経済産業省）

採択実績 27件（うち九州2件）

八田・山本宇宙推進機製作所(株)（福岡県）

グリーンサイエンス・マテリアル(株)（熊本県）

人材開発支援助成金（厚労省）

- ・職業訓練を実施する事業主等に対して、訓練経費や訓練機関の一部を助成する制度
- ・今年度から新設された「人への投資促進コース」のうち、IT関連の訓練メニューについては、訓練経費に加え訓練期間中の賃金やOJTに対する助成も実施
- ・R4当初予算額681億円

専門実践教育訓練給付金（厚労省）

- ・在職者又は離職後1年以内の者が、厚生労働省の指定する専門実践教育訓練（約2,600講座）を受ける場合に、訓練費の一部を助成する制度
- ・IT関係取得講座や第4次産業革命スキル取得講座などが含まれる
- ・R4当初予算額389億円